

向こう1年間の市場見通し (8月10日時点)

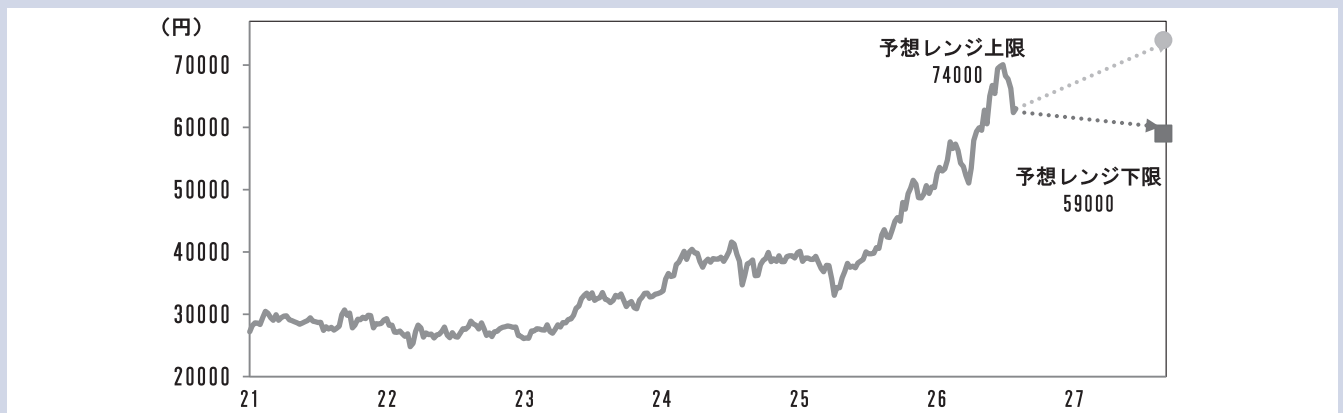
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一(ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株はイラン情勢悪化に伴う原油高を受けて急落した後、AI関連株にけん引され、上値を追った。日米ともにAI関連株の業績見通しは著しく上向いており、この点において株価は業績の裏付けを伴っている。半導体関連銘柄は7月に下落した一方、それ以外の銘柄は堅調に推移している。
ドル円	FRBは2025年後半に累積0.75%ptの利下げを実施した後、7月までは据え置いている。利上げが意識されるなか、ドル高主導の円安圧力が生じている。もっとも、7月末頃に日米協調介入が実施されたことで、一方的な円安の可能性は低下した。当面は連続介入に対する警戒感が残存しよう。
金利	日銀は6月に政策金利を1.0%へと引き上げ、先行きの利上げ方針も確認した。インフレ圧力が高まるなか、円安に対する警戒もあり、半年に一度よりも早い頻度で利上げが進む可能性がある。長期金利はインフレ警戒感が燦る下、2%台後半～3%程度で推移するとみている。

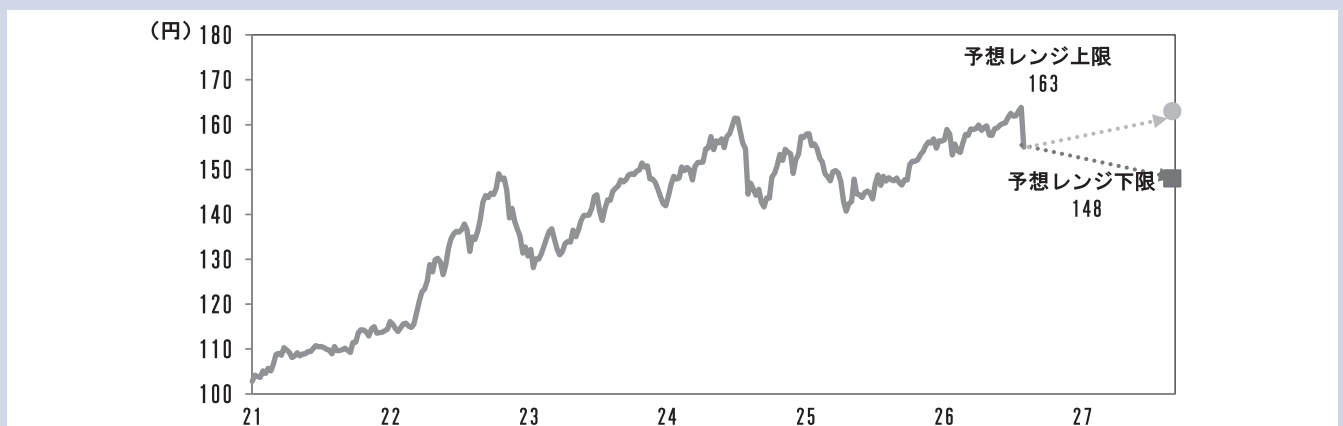
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所) LSEGより作成

向こう1年間のドル円相場



(出所) LSEGより作成